



世界史B

第2問 問4・5

歴史上の出来事の背景や影響を判断する連動型の問題

資料2:先住民の強制移住法(インディアン強制移住法)
(著作権の都合により非掲載)

資料3:カンザス=ネブラスカ法
(著作権の都合により非掲載)

問4 次のあ・いはい、それぞれ資料2・3の法律の名である。あ・いと、それぞれが作られた理由や背景として考えられることを述べた文X～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから二つ選べ。なお、正しいものは複数あるが、解答は一つでよい。 [13]

法律の名

- あ 先住民の強制移住法(インディアン強制移住法)
い カンザス=ネブラスカ法

法律が作られた理由や背景として考えられること

- X 北緯36度30分以北に奴隷州を作らないという規制を廃止するため。
Y 西部出身のジャクソンが大統領に当選した。
Z 一定の条件を満たす入植者に、国有地を無償で与えるため。

- ① あ-X ② あ-Y ③ あ-Z
④ い-X ⑤ い-Y ⑥ い-Z

問5 問4で選んだ解答に基づき、それぞれの法律が施行されたことがきっかけとなって起こった事柄について述べた文として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 [14]

- ① 「涙の旅路(涙の踏みわけ道)」として知られる悲劇を生んだ。
② ホームステッド法(自営農地法)が制定された。
③ アメリカ労働総同盟が結成された。
④ 樞樞外交が展開された。
⑤ 共和党が結成された。
⑥ 連邦派と反連邦派が対立した。

正解:②-①、④-⑤

出題の特徴

資料の法律の名とその制定の理由や背景を判断する問題と、その解答に連動して法律の施行をきっかけに起こった事柄を選択する問題でした。「ジャクソン大統領による強制移住法で先住民が強制的に西部に移住させられた」または「カンザス=ネブラスカ法によって奴隷州の拡大が予想され共和党が結成されて南北戦争につながった」という出来事のつながりについての理解が問われました。

2025共通テストに向けて

本問では、資料を読み取り、歴史上の出来事の因果関係を想起することが求められました。日頃から資料の読解問題に触れる機会を増やし、解答に必要な情報を正確に収集する力、そして事象相互のつながりに着目し、関連づけて考察する力を身につけましょう。正確な知識の定着はもちろんですが、相互のつながりを意識した学習に取り組むことは、共通テスト対策に効果的です。

2024年度大学入学共通テスト

「世界史B」

受験者数: 75,866人
平均点: 60.28点
標準偏差: 21.55

教材のご紹介

教材のご紹介…「進研WINSTEP 世界史探究[新課程版]」



定価(税込み)
980円 ※1 / **1,030円** ※2
 ※1 2024年3月29日ご注文受付分の価格です。
 ※2 2024年4月1日以降のご注文受付分の価格です。

活用できる知識を習得し、解答する力を身につける

近代アメリカ史において、領土の拡大や南北戦争については必ずおさえておきたい歴史事象です。第2問問4・5は背景や影響を判断する問題でした。その前提には正確な知識に加え、出来事の相互のつながりについての理解が必要となります。WINSTEP世界史探究では、知識と出来事のつながりを図示により視覚的に学習できます。

歴史上の出来事の背景や影響を判断する連動型の問題

類出ポイント 4 アメリカ合衆国の発展

アメリカ合衆国はなぜ領土を拡大できたのでしょうか？

独立達成	政治的・経済的自立達成	西部へと領土を拡大
① 独立戦争 ●独立宣言(1776) ●パリ条約により独立承認(1783)	② (1812~14) ●大陸封鎖令に対抗してイギリスが海上封鎖を実施 →ヨーロッパ諸国とアメリカとの通商が妨害されたことにアメリカが抗議し開戦	③ (1823) ●第5代大統領モンローが提唱 ●アメリカ大陸とヨーロッパとの相互不干渉を主張 ● 孤立主義 →その後のアメリカ外交の基本となる
		④ (1846~48) ●テキサス併合をきっかけとした国境争い →アメリカが勝利

先住民強制移住法 (1830) ●7代大統領ジャクソンが制定
 ●先住民をミシシッピ川以西に追放

類出ポイント 4 南北戦争とアメリカの発展

南北戦争に至る北部と南部の対立の背景はどのようなものだったのでしょうか？

北部	対立	南部
資本主義の発達には、自由な労働者が必要！ ●商工業中心：産業資本家→保護貿易を主張 ●連邦主義(中央集権) ●ホイッグ党→共和党 ●反対		プランテーション経営には奴隷が必要！ ●奴隷制プランテーション経営→自由貿易を主張 ●州権主義(地方分権) ●民主党(1820年代結成) ●賛成

① 13植民地の独立承認
 ●ミシシッピ川以東の広大な領土をイギリスより割譲される

② ●ミシシッピ川以西のルイジアナをフランスから買収
 ●スペインからフロリダを買収

③ ●カンザス・ネブラスカ法(1854) → ミズーリ協定を否定
 ●両州は住民投票によって自由州か奴隷州か決定

④ 1854 奴隷制反対をスローガンに共和党を結成
 ●共和党の(◎)を結成し、大統領に当選

⑤ ●南北戦争(1861~65)
 ●ホームステッド法(1862) → 北部は西部の支持を獲得
 ●奴隷解放宣言(1863) → 北部はヨーロッパ諸国の支持獲得をめざす
 ●(◎)の戦い(1863)：最大の激戦
 →(◎)の演説：「人民の、人民による、人民のための政治」
 …民主主義の本質を示して世論の支持を獲得→北部の勝利

南北戦争後のアメリカ
 ●アメリカ合衆国の統一が維持され、北部主導による南部の再建がすすむと同時に、保護関税のもとで北部の工業はめざましい発展を遂げた。さらに1869年に最初の大陸横断鉄道が開通したことをきっかけに、農業の発達した西部の国内市場への統合が急速にすすんだ。1890年代にフロンティアが消滅したアメリカ合衆国は、19世紀末にはイギリスを抜いて世界最大の工業国へと成長した。

入試頻出の知識を「使える状態」に整理し、3年生2学期からの本格的な実戦演習へ

「2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 歴史総合, 世界史探究」(2024年6月発行)